

学校生活のきまり

R6.3 生徒会役員・中央委員会確認済

<身だしなみ>

(1) 服装

・冬服、夏服（各自季節に合わせた制服を着用する。上下異なる格好（冬＋夏服）をしない。）

式・式典の場合は指定された服装をすること。

冬服	<ul style="list-style-type: none"> ・黒つめえりの学生服（カラーをつける） ・学生服の下は、白Yシャツ ・黒長ズボン（黒ベルト） 	<ul style="list-style-type: none"> ・紺の上下。 ・ブレザー ・リボン ・ジャンパースカート、スラックス ・上着の下は、白Yシャツ <p>※スカート丈は膝にかかる程度</p>
	<p>※スクールセーター（カーディガン）を上着の下に着ることができる。</p> <p>ただし、紺、黒色、グレーのVネックで柄のないもの。（ワンポイント可）</p> <p>袖や裾をだらしく出さないよう注意。（上着と同程度の大きさのものを着用）</p> <p>※入学式・卒業式・離任式は、原則としてセーターの着用をしない。</p> <p>※冬の登校時に手袋、マフラー（ネックウォーマー）、コートの着用が可能。ただし、校舎内では着用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手袋・マフラー… 派手な柄、色のものをさけること。ネックウォーマー可。 ・セーター … 黒、紺、グレーのVネックのスクールタイプとする。 ・コート … 黒、紺、グレーを基調とした上着と同程度のコート（ダウン等可）または、部活動で購入したジャージの上着 <p>※寒冷時、黒タイツ・黒ストッキングを着用することができる。</p>	
夏服	<ul style="list-style-type: none"> ・ポロシャツ（指定） ・黒長ズボン（黒ベルト） <p><u>※ポロシャツは長ズボンから出して着用可</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポロシャツ（指定） ・スカート、スラックス <p><u>※ポロシャツはスカート、スラックスから出して着用可</u></p> <p><u>※スカート丈は膝にかかる程度</u></p> <p><u>※スカートのウエスト部分を折ったり、丸めたりして着用しないこと</u></p>
	<p>※肌着を着用する。（無地で柄の入っていないもの）</p> <p>※靴下は、白・灰・紺・黒色を基調としたものを着用する。</p> <p>（安全上、くるぶしが完全に隠れる長さを着用すること。）</p> <p>※夏服の時期でも涼しい時には長袖ワイシャツを着用することができる。</p>	

- ① バッチのつけ方 → 生徒手帳を参照。
- ② 衣替え移行期間はジャンパースカートでの登校も認めるがバッチを着用すること。
- ③ やむを得ない理由で、指定された服装以外を着用する場合は、保護者の申し出により許可をする（生徒手帳にて届け出る）。

(2) 頭 髪

- ①教育活動に支障がなく、表情がはっきり見え、清潔に整えるようにする。
 - ②肩まで伸びた時は、髪ゴム（黒・紺・茶の単色）で束ねる。
- ※脱色、着色、パーマ、そり込み、整髪料、ピアス・イヤリング、化粧、ヘアバンド、カラーピン、アクセサリ等は禁止。

（３）上履きと下履き

- ① 校内では学年色（令和７年度：１年→赤、２年→緑、３年→青）の上履きを履く。
体育館では体育館履きを履く。
- ② 忘れた生徒は職員室で「サンダル」を借りる。
- ③ かかとを踏みつぶさずに履く。
- ④ 名前の書き方 → 生徒手帳を参照。
- ⑤ 屋外では運動靴を履く。革靴（黒）を使用してもよい。（外での体育実技は運動靴とする。）

<持ち物>

（１）カバン

- ①学校指定のスクールバッグを使用する。補助的にナップサックを使用する。
- ②カバンの変形、落書きやシールは禁止。
- ③キーホルダーは取り違え防止のために必要な分（１～２個）だけにする。

（２）生徒手帳

- ①生徒手帳は、登下校時に携行する。
- ②生徒手帳を紛失・破損した場合は「再交付願い」提出で実費にて再発行できる。

（３）所持品

- ①学習、学校生活に必要なもの、危険なもの、周囲の迷惑となるもの、貴重品をもってこないこと。

例：携帯電話、お菓子、ゲーム類、雑誌、漫画、整髪料、カッター（刃物）

※特別な事情で現金等の貴重品を持参した場合は朝学活時、必ず担任に預ける。